

細則様式第4号

論文審査及び最終試験結果報告書			
氏名	十文字 雄一		
入学年度	令和 2 年度	学籍番号	20GG904
領域	総合リハビリテーション 科学領域	分野	
審査委員	主査	尾田 敦	
	副査	三浦 富智	
	副査	高橋 純平	
	副査	對馬 栄輝	

論文題目：

投球後のケアの方法の違いによる肩関節機能の変化

審査結果要旨：

本研究では、高校野球投手の投球後のケアについて、アイシングのみ、ストレッチ+トレーニング、有酸素運動の3種類を比較し、その特徴を明らかにしたものである。

評価項目は肩関節内外旋可動域、肩水平内転テスト (HFT)、肩外転挙上テスト (CAT)、肩関節回旋筋力と肩関節外旋内旋筋力比 (E/I 比) であった。結果として、アイシングでは1日後にHFTが有意に低下し、内外旋可動域は直後から1日目または2日目まで有意に低下する傾向があったこと、逆に筋力はケア後に低下したが2日目3日目では有意に向上するという結果を得たことから、ケアにより特徴があり、今後の試合の日程にあわせた調整が必要であることが示されたことは非常に興味深い知見である。

これまでは横断研究であったり、アンケート調査が主であったりするところ、投球後のケアを行ってから3日間継続して調査した研究はこれまでになく、実験計画としては新規性が高い。また、それぞれの運動後ケア方法の違いによる機能の変化を示すことができている点は新たな知見であるし、非常に有益性の高い結果が含まれている。

様々な制約の中で系統的に実施され、学位審査論文中にはその内容が過不足なく記載されていた。本研究は、適切な倫理的手続きに基づいて遂行されており、計画・実施・データ収集・解析等の過程において申請者は独立した研究者として高い研究遂行能力を有するとともに、高い倫理観を身につけていることが確認された。

最終試験 令和 5 年 1 月 19 日

試験の結果は 合格 ・ 不合格 と判定する。